

### ③寝返り

寝返りについて、全体では、「できる」が31名(54.4%)、「できない」が26名(45.6%)、タイプ3では、「できる」が2名(100%)、「できない」が0名(0%)、タイプ4では、「できる」が20名(100%)、「できない」が0名(0%)、タイプ5では、「できる」が9名(25.7%)、「できない」が26名(74.3%)であった。タイプ5以外は、寝返りはできていた。

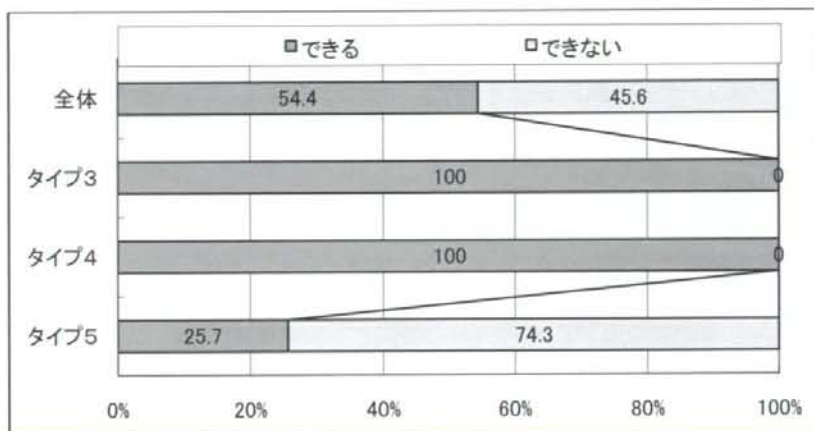


図 10-24 寝返り

### ④起き上がり

起き上がりについて、全体では、「できる」が23名(40.4%)、「できない」が34名(59.6%)、タイプ3では、「できる」が2名(100%)、「できない」が0名(0%)、タイプ4では、「できる」が20名(100%)、「できない」が0名(0%)、タイプ5では、「できる」が1名(2.9%)、「できない」が34名(97.1%)でタイプ5は、起き上がりは、ほとんどできなかったが、タイプ3、4はできていた。

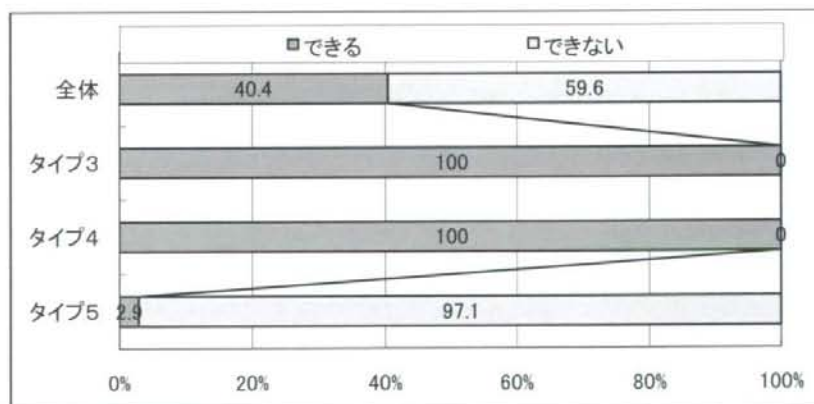


図 10-25 起き上がり

### ⑤座位保持

座位保持について、全体では、「できる」が21名(36.8%)、「支えがあればできる」が7名(12.3%)、「できない」が29名(50.9%)、タイプ3では、「できる」が2名(100%)、「支えがあればできる」が0名(0%)、「できない」が0名(0%)、タイプ4では、「できる」が19名(95.0%)、「支えがあればできる」が1名(5.0%)、「できない」が0名(0%)、タイプ5では、「できる」が0名(0%)、「支えがあればできる」が6名(17.1%)、「できない」が29名(82.9%)であった。

タイプ3は座位保持できるが、タイプ4には、わずかにできない幼児が存在し、タイプ5になると82.9%とかなり高い割合でできないと回答されていた。

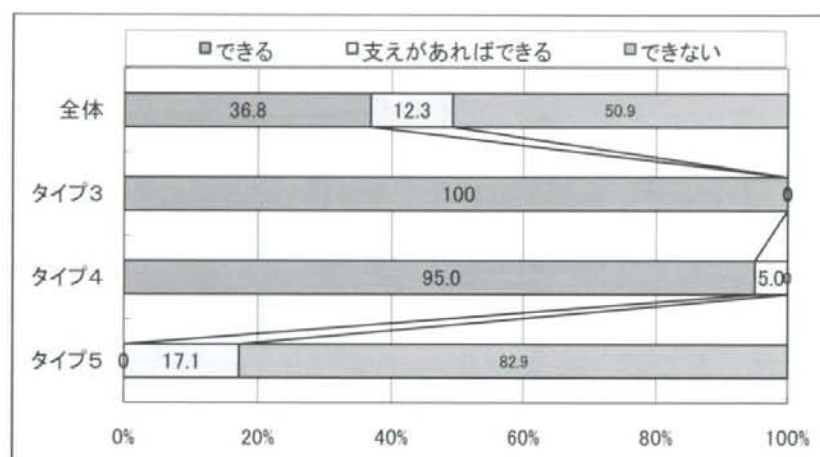


図 10-26 座位保持

### ⑥移乗

移乗について、全体では、「見守り・一部介助が必要」が2名(3.5%)、「できない」が55名(96.5%)、タイプ3では、「見守り・一部介助が必要」が2名(100%)、「できない」が0名(0%)、タイプ4では、「見守り・一部介助が必要」が0名(0%)、「できない」が20名(100%)、タイプ5では、「見守り・一部介助が必要」が0名(0%)、「できない」が35名(100%)であった。

タイプ4と5はすべて移乗ができなかったが、タイプ3では、見守り、一部介助でできていた。

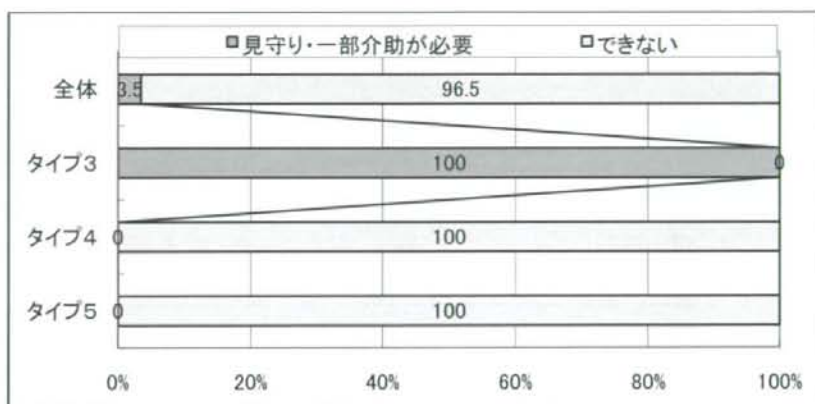


図 10-27 移乗

### ⑦移動方法

移動方法について、全体では、「補助を要する移動」が44名(77.2%)、「移動なし」が13名(22.8%)、タイプ3では、「補助を要する移動」が2名(100%)、「移動なし」が0名(0%)、タイプ4では、「補助を要する移動」が20名(100%)、「移動なし」が0名(0%)、タイプ5では、「補助を要する移動」が22名(62.9%)、「移動なし」が13名(37.1%)であった。タイプ3,4では、全員が介助が必要であったが、タイプ5では、全く移動しない者が34.1%も含まれていた。

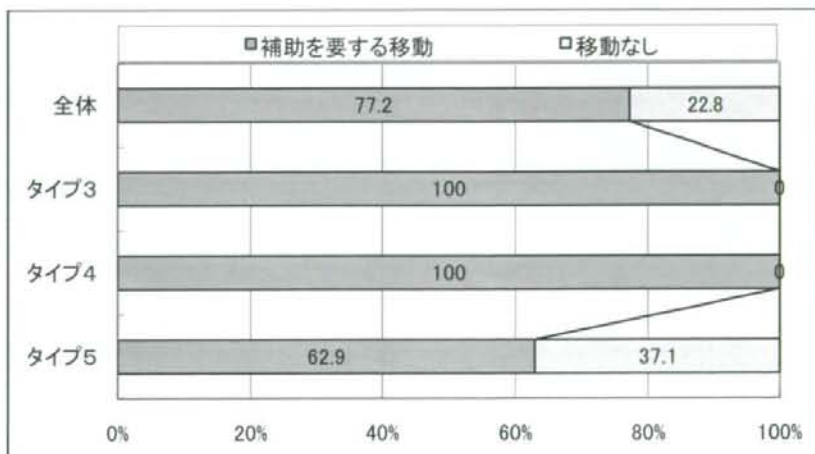


図 10-28 移動方法

⑧ 口腔清潔

口腔清潔について、全体では、「できない」が57名（100%）、タイプ3では、「できない」が2名（100%）、タイプ4では、「できない」が20名（100%）、タイプ5では、「できない」が35名（100%）で全員、口腔清潔はできなかった。

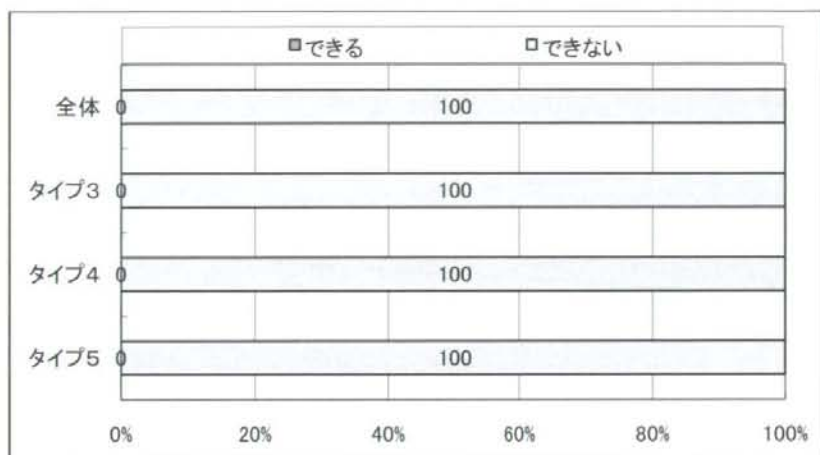


図 10-29 口腔清潔

⑨ 食事摂取

食事摂取について、全体では、「一部介助」が7名（12.3%）、「全介助」が50名（87.7%）、タイプ3では、「一部介助」が2名（100%）、「全介助」が0名（0%）、タイプ4では、「一部介助」が5名（25.0%）、「全介助」が15名（75.0%）、タイプ5では、「一部介助」が0名（0%）、「全介助」が35名（100%）であった。タイプ3は、全員が一部介助であるのに対し、タイプ5では、全員が全介助であった。

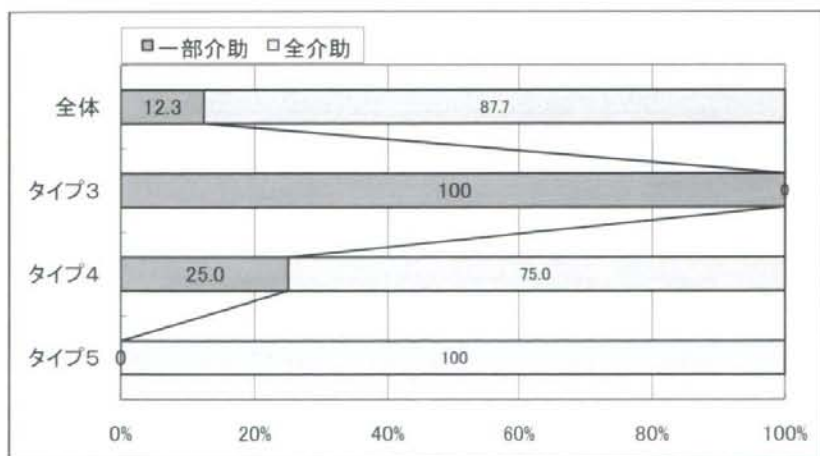


図 10-30 食事摂取

### ⑩衣服の着脱

衣服の着脱について、全体では、「全介助」が 57 名（100%）、タイプ 3 では、「全介助」が 2 名（100%）、タイプ 4 では、「全介助」が 20 名（100%）、タイプ 5 では、「全介助」が 35 名（100%）で全員が全介助であった。

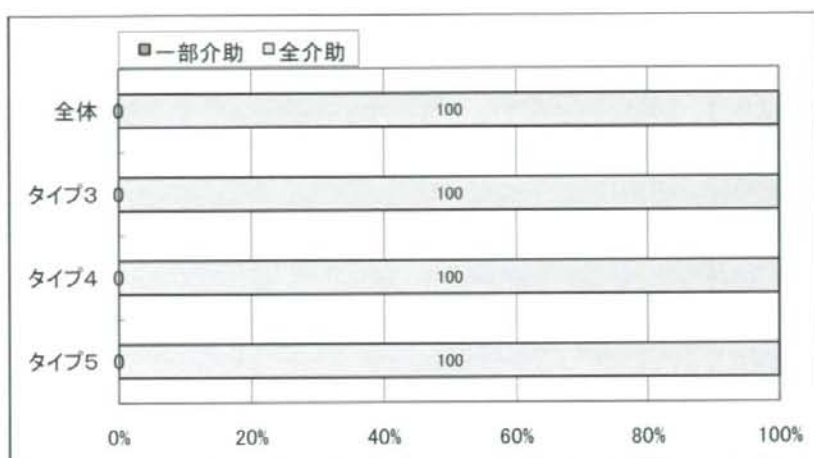


図 10-31 衣服着脱

### ⑪他者への意思の伝達

他者への意思の伝達について、全体では、「できる時とできない時がある」が 41 名（71.9%）、「できない」が 16 名（28.1%）、タイプ 3 では、「できる時とできない時がある」が 2 名（100%）、「できない」が 0 名（0%）、タイプ 4 では、「できる時とできない時がある」が 16 名（80.0%）、「できない」が 4 名（20.0%）、タイプ 5 では、「できる時とできない時がある」が 23 名（65.7%）、「できない」が 12 名（34.3%）であった。

タイプ 3 は、全員ができる場合があると回答されたが、タイプ 4 は 80.0%、タイプ 5 は、この割合が 65.7%と低い割合であった。

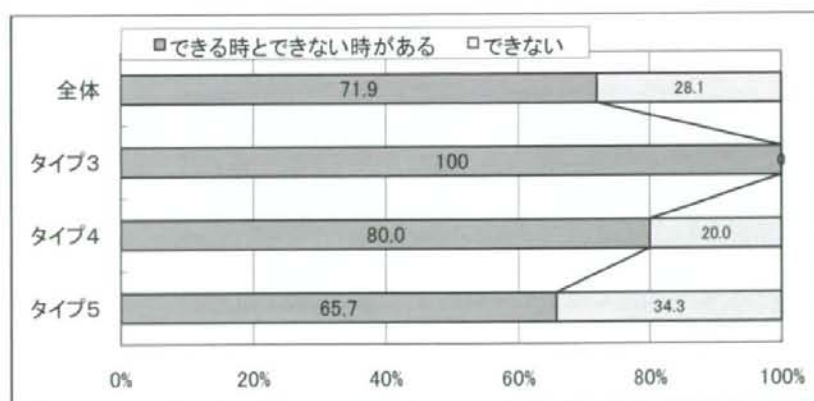


図 10-32 他者への意思伝達

⑫診療・療養上の指示が通じる

診療・療養上の指示が通じるについて、全体では、「いいえ」が57名（100%）、タイプ3では、「いいえ」が2名（100%）、タイプ4では、「いいえ」が20名（100%）、タイプ5では、「いいえ」が35名（100%）で全く診療上の指示は通じていなかった。

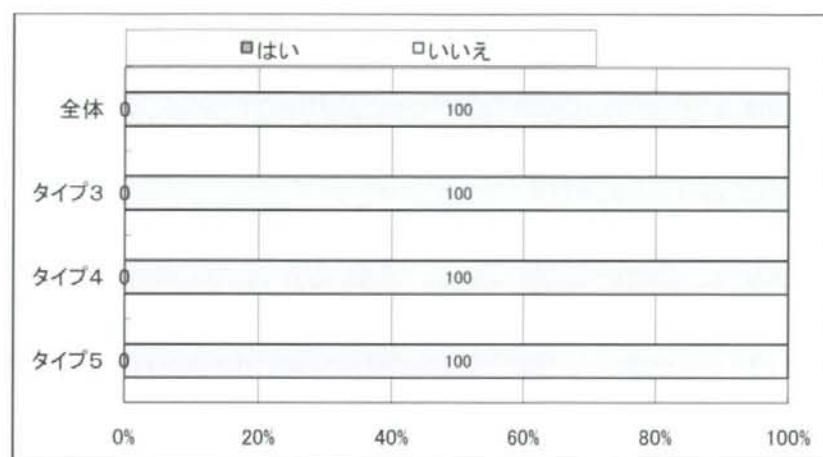


図 10-33 診療・療養上の指示が通じる

⑬危険行動への対応

危険行動への対応について、全体では、「ある」が57名（100%）、タイプ3では、「ある」が2名（100%）、タイプ4では、「ある」が20名（100%）、タイプ5では、「ある」が35名（100%）で、すべての乳幼児に対応をしていた。

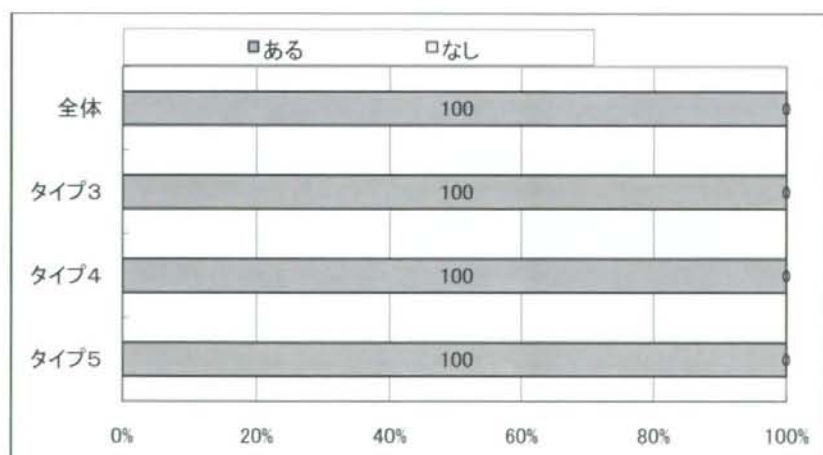


図 10-34 危険行動への対応

⑭手術

手術は、まったく実施されていなかった。

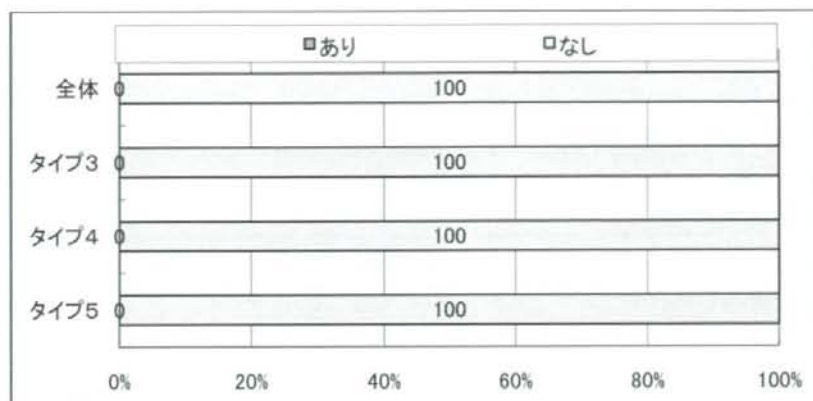


図 10-35 手術

⑮10 分以上の指導

10 分以上の指導について、全体では、「なし」が 57 名 (100%)、タイプ 3 では、「なし」が 2 名 (100%)、タイプ 4 では、「なし」が 20 名 (100%)、タイプ 5 では、「なし」が 35 名 (100%) で全く行われていなかった。

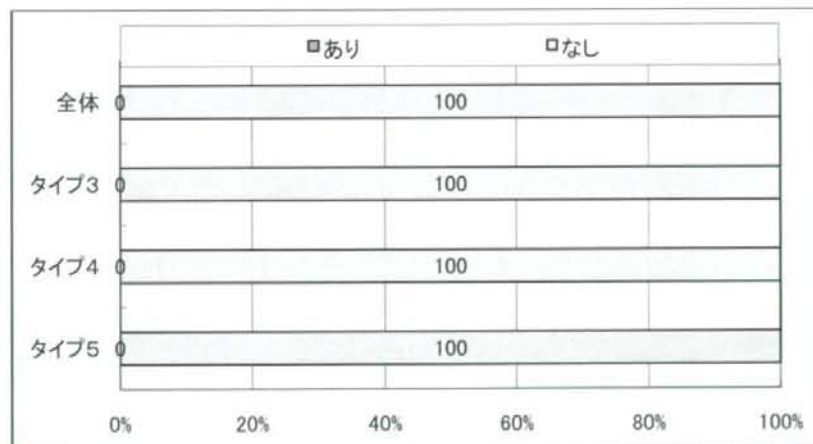


図 10-36 10 分以上の指導

⑩10分間以上の意思決定支援

10分間以上の意思決定支援について、全体では、「なし」が57名(100%)、タイプ3では、「なし」が2名(100%)、タイプ4では、「なし」が20名(100%)、タイプ5では、「なし」が35名(100%)で全く意思決定支援は、行われていなかった。

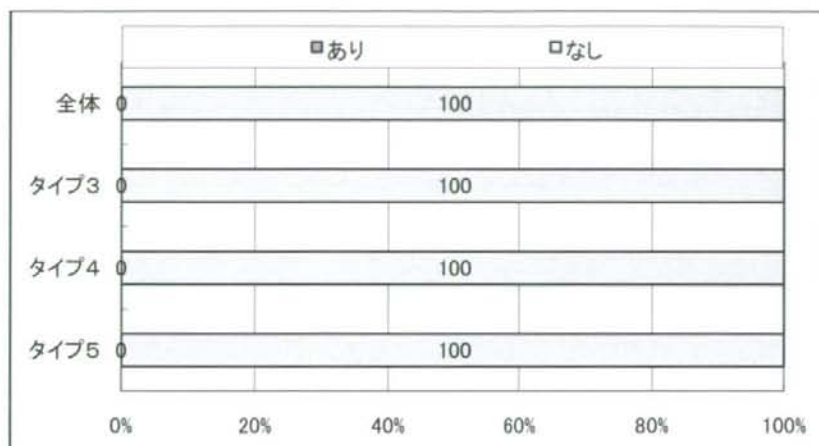


図 10-37 10分以上の意思決定支援

⑪身体的な症状の訴え

身体的な症状の訴えについて、全体では、「なし」が57名(100%)、タイプ3では、「なし」が2名(100%)、タイプ4では、「なし」が20名(100%)、タイプ5では、「なし」が35名(100%)で訴えは全くなかった。

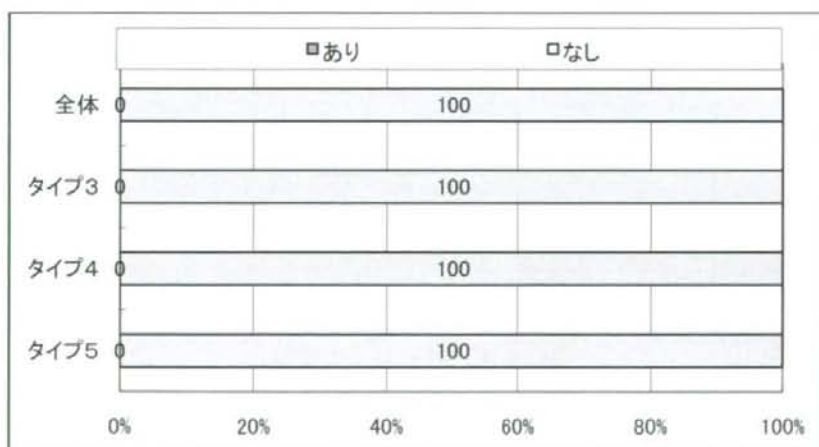


図 10-38 身体的な症状の訴え



⑱退所予定

退所予定について、全体では、「なし」が 57 名 (100%)、タイプ 3 では、「なし」が 2 名 (100%)、タイプ 4 では、「なし」が 20 名 (100%)、タイプ 5 では、「なし」が 35 名 (100%) で退所予定があるものはいなかった。

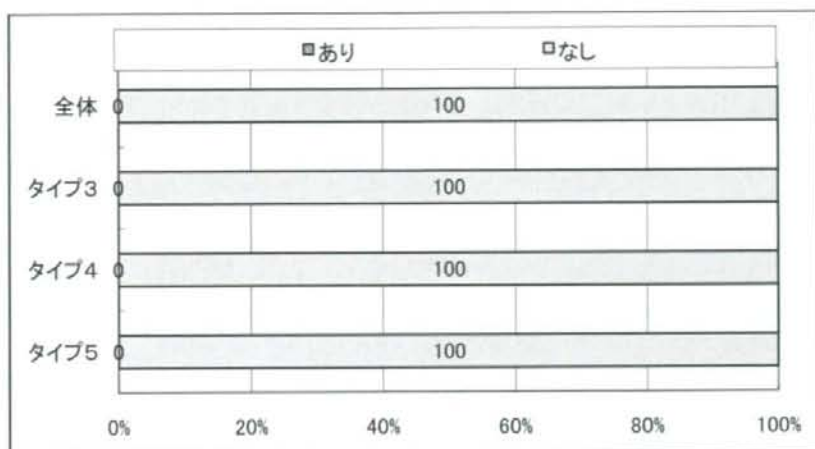


図 10-39 退所予定

#### (6) 患者分類別のアセスメント項目の評価の比較

1分間タイムスタディ調査の対象となった乳幼児の患者分類別にアセスメント項目の比較をおこなった。患者分類別比較を行うために、それぞれ各項目の得点の平均値について、一元配置分散分析および多重比較により検討を行った。

「創傷処置」、「時間尿測定」、「呼吸ケア」、「どちらかの手を胸元にあげる」、「寝返り」、「移動方法」、「食事摂取」、「他者への意思の伝達」の9項目であり、その結果、「どちらかの手を胸元」は、タイプ4とタイプ5の間で有意な差が示された。

「寝返り」、「起き上がり」、「座位保持」ではタイプ3とタイプ5、タイプ4とタイプ5で、「どちらかの手を胸元にあげる」、「移動方法」ではタイプ4とタイプ5で、「食事摂取」は、すべてのタイプ間に統計的に有意な差が示された。

表 10-6 患者分類別A項目（医療的ケア）の比較

	1	2	平均値の差 (1-2)	P
どちらかの手を胸元に あげる	タイプ3 ⇔ タイプ4		0.00	1.00
	タイプ3 ⇔ タイプ5		-0.26	0.96
	タイプ4 ⇔ タイプ5		-0.26	0.04 *
寝返り	タイプ3 ⇔ タイプ4		0.00	1.00
	タイプ3 ⇔ タイプ5		-1.49	0.02 *
	タイプ4 ⇔ タイプ5		-1.49	0.00 **
起き上がり	タイプ3 ⇔ タイプ4		0.00	1.00
	タイプ3 ⇔ タイプ5		-0.97	0.00 **
	タイプ4 ⇔ タイプ5		-0.97	0.00 **
座位保持	タイプ3 ⇔ タイプ4		-0.05	1.00
	タイプ3 ⇔ タイプ5		-1.83	0.00 **
	タイプ4 ⇔ タイプ5		-1.78	0.00 **
移動方法	タイプ3 ⇔ タイプ4		0.00	1.00
	タイプ3 ⇔ タイプ5		-0.37	0.58
	タイプ4 ⇔ タイプ5		-0.37	0.00 **
食事摂取	タイプ3 ⇔ タイプ4		-0.75	0.00 **
	タイプ3 ⇔ タイプ5		-1.00	0.00 **
	タイプ4 ⇔ タイプ5		-0.25	0.00 **

\*P<.05 \*\*P<.01

第11章 乳幼児に提供されたケア内容および時間の調査 -他計式1分間タイムスタディ法によるケア時間-

1.一人当たり乳幼児に提供されていた総ケア時間

平均総ケア時間は、平均は176.3分で、最小で78.0分、最大で344.6分の範囲にあった。ケア時間帯別の人数分布は、時間帯120-140分で24.6%占められていた。最小のケア時間と最大のケア時間では、5倍以上の差があった。

表 11-1 総ケア時間 (N=57)

	平均値	標準偏差	最小値	最大値	変動係数
総ケア平均時間	122.9	53.1	63.7	327.6	43.2

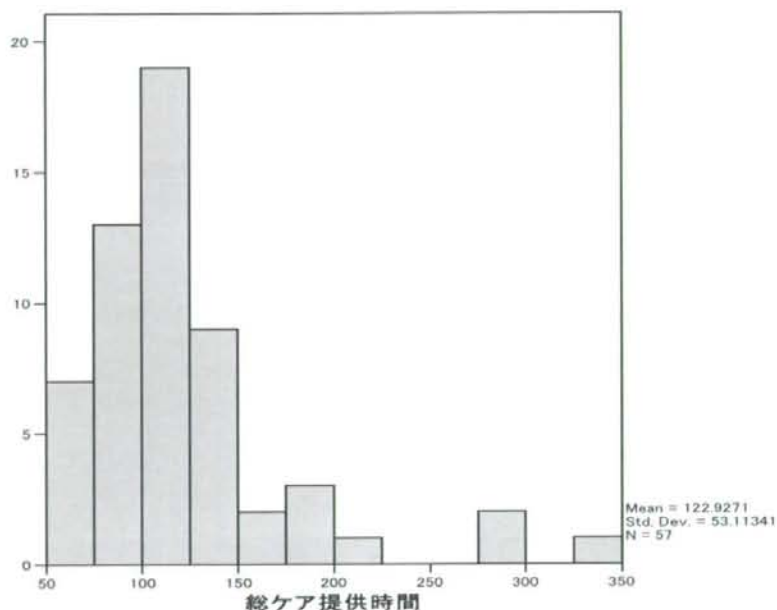


表 11-2 総ケア提供時間の分布 (分)

	N	%
80分未満	8	14.0
80分～100分未満	12	21.1
100分～120分未満	14	24.6
120分～140分未満	9	15.8
140分～160分未満	6	10.5
160分以上	8	14.0
	57	100

## 2.患者分類別総ケア提供時間の比較

最もケア時間が長かったのはタイプ3で平均180.2分であった。続いて、タイプ5が長く平均123.8分であり、タイプ3→5→4の順に、提供時間は短くなっていた。なお、タイプ別には、総介護提供時間に統計的な有意差は示されなかった。

表 11-3 患者分類別総ケア提供時間の分布

	平均値	標準偏差	最小値	最大値	N
タイプ3	180.2	4.5	177.0	183.4	2
タイプ4	115.8	33.3	63.7	183.0	20
タイプ5	123.8	61.7	69.0	327.6	35
合計	122.9	53.1	63.7	327.6	57

表 11-4 患者分類別総ケア提供時間の比較

	平均値の差	P
タイプ3 ⇔ タイプ4	64.4	0.32
タイプ3 ⇔ タイプ5	56.4	0.44
タイプ4 ⇔ タイプ6	8.0	1.00

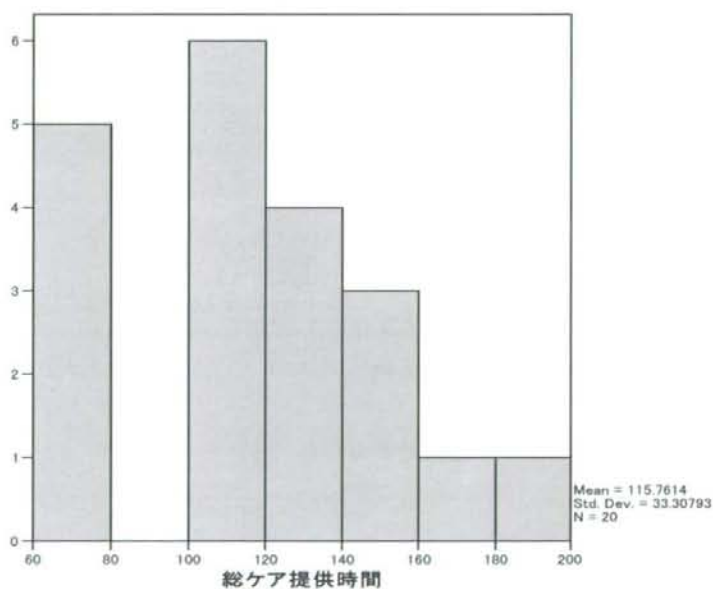


図 11-1 タイプ4の総ケア提供時間の分布 (分)

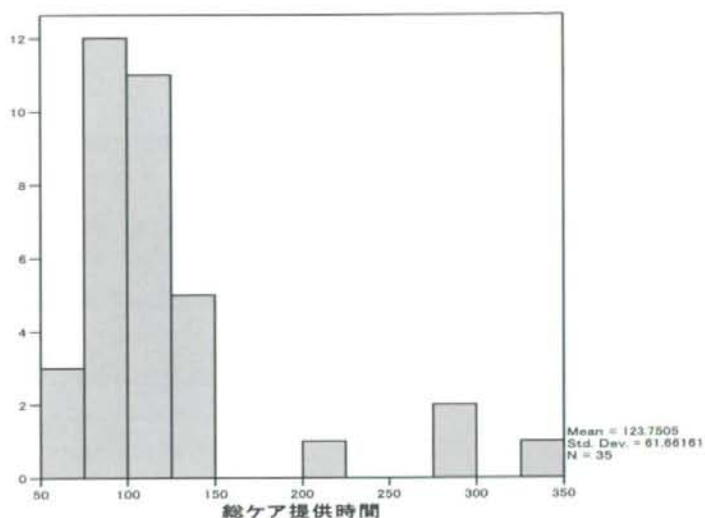


図 11-2 タイプ5の総ケア提供時間の分布 (分)

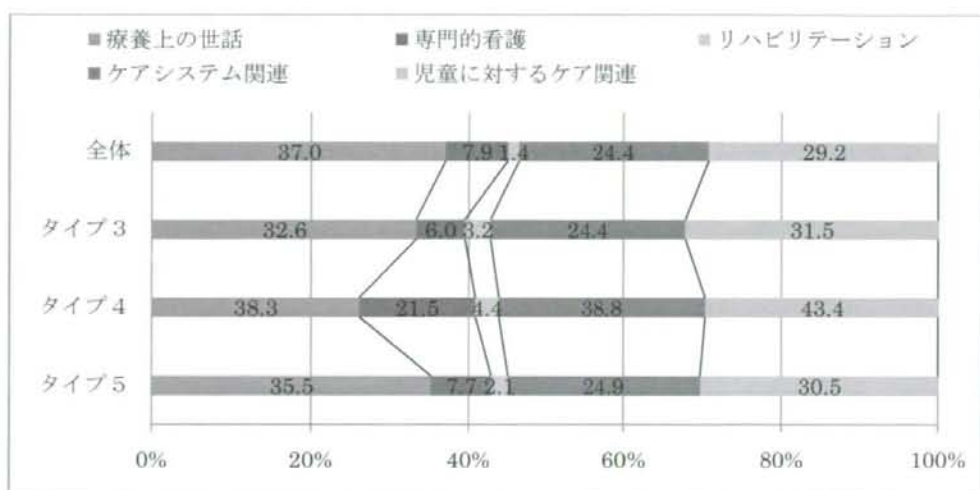
### 3.提供されたケア内容（大分類）別時間の比較

総ケア時間は、平均 122.9 分であった。このうち、「療養上の世話」の時間が最も長く 62.1 分で 35.5% を占めていた。次に、「児童に対するケア関連」が 53.3 分で 30.5%、「ケアシステム関連」が 43.6 分で 24.9%、「専門的看護」が 13.5 分で 7.7%、「リハビリテーション」が 3.7 分で 2.1% と示されていた。

患者分類別には、タイプ 3 が最も長いケア時間で 180.2 分であったが、その内訳は、「児童に対するケア関連」が 43.4% と高い割合を占め 76.0 分提供されていた。次いで、「ケアシステム」に関するケアも 38.8% を占め、67.9 分提供されていた。この時間は、タイプ 4、5 に比較して、タイプ 3 が長かった。「療養上の世話」に関しても、38.3% を占め、67 分提供されており、タイプ 4、タイプ 5 よりも長かった。「専門的看護」に関するケア時間も、37.7 分とタイプ 4、5 のいずれよりも長かった。

タイプ 5 は、では「療養上の世話」が 64.7 分、「専門的看護」も 13.9 分と長く、タイプ 3 に次いで長かったが、「リハビリテーション」が 1.4% とほとんど提供されていなかった。

タイプ別大分類別に平均ケア時間に有意な差があったのは、「ケアシステム関連」のケア時間でタイプ 3 と 4、タイプ 3 とタイプ 5 の間に示され、いずれもタイプ 3 のほうが長い時間が提供されていた。



単位：分

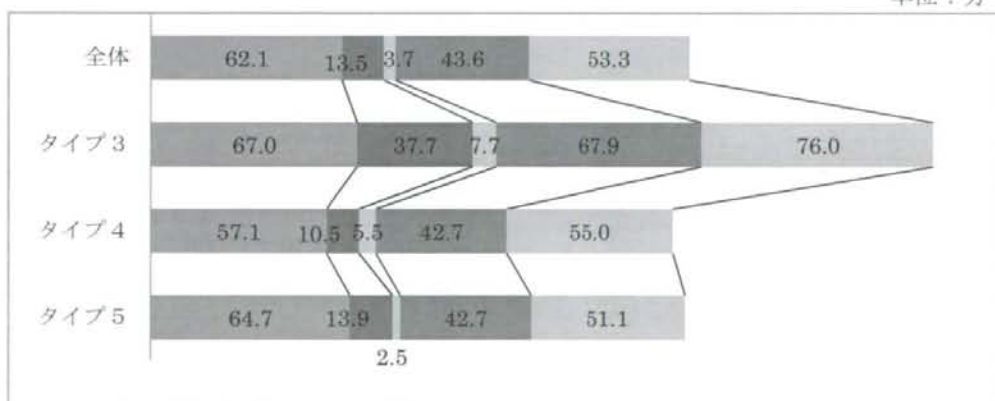


図 11-3 患者分類別ケア内容別時間の構成割合

表 11-5 患者分類別ケア内容の比較①

	分類	平均値	標準偏差	最小値	最大値	N
療養上の世話	タイプ3	67.0	0.3	66.8	67.2	2
	タイプ4	57.1	26.2	14.4	118.4	20
	タイプ5	64.7	46.8	15.0	226.1	35
	全体	62.1	39.7	14.4	226.1	57
専門的看護	タイプ3	37.7	28.1	17.8	57.5	2
	タイプ4	10.5	6.2	2.9	26.8	20
	タイプ5	13.9	19.2	2.9	114.8	35
	全体	13.5	16.6	2.9	114.8	57
リハビリテーション	タイプ3	7.7	7.1	2.6	12.7	2
	タイプ4	5.5	4.3	0.9	15.0	20
	タイプ5	2.5	2.5	0.1	9.1	35
	全体	3.7	3.7	0.1	15.0	57
ケアシステム関連	タイプ3	67.9	16.7	56.0	79.7	2
	タイプ4	42.7	8.1	31.9	62.5	20
	タイプ5	42.7	9.4	30.9	67.0	35
	全体	43.6	10.2	30.9	79.7	57
児童に対するケア 関連	タイプ3	76.0	1.6	74.8	77.1	2
	タイプ4	55.0	28.6	12.3	126.2	20
	タイプ5	51.1	26.8	15.3	113.1	35
	全体	53.3	27.1	12.3	126.2	57

表 11-6 患者分類別ケア内容別時間の比較②

			平均値の差	P
ケアシステム関連のケア時間	タイプ3	⇔ タイプ4	25.2	0.00 **
	タイプ3	⇔ タイプ5	25.2	0.00 **
	タイプ4	⇔ タイプ5	0.0	1.00
			*P<.05	**P<.01

#### 4.提供されたケア内容とケア時間

最も提供時間が長かったのは、「ミルク摂取介助」で発生率も100%で、すべての乳幼児に発生しており、平均20.7分の長い時間が提供されていた。

次いで、「えんげ困難の援助、半側麻痺や水分誤飲に対する援助・指導」の発生率は、43.9%であったが、11.9分と長く、この2種類のケアだけが10分以上提供されていた。食事に係るケアは長く提供されており、「離乳食等摂取介助」9.4分と示された。

10分以上提供されていたケアのは、「車椅子による移動の介助、スロープ(外出のため)の用意、片付け」は9.5分と長かったが、発生率は3.5%と2人に提供されていただけであった。「歩行の介助、歩行器での移動の介助」は8.0分と1.8%とこのケアもかなり低い発生率であった。

一方、「抱きかかえての移動」は発生率が100%で7.4分と移動に係るケアは長かった。同じく発生率100%の「おむつ除去、装着」7.7分という排泄に関するケアや「カーデクス、看護記録、ADL評価記録等」7.5分、「職員間の連絡、打ち合わせ、伝達、他職員を捜す、連絡、職員の朝礼、他部署と電話で業務連絡、寮母が検温表を看護婦に渡す」7.0分といったケアシステムに関するケアであった。

また、「経管栄養の実施」6.0分は発生率は3.5%と低かった。「気管切開、気管切開口のケア、カニューレ交換・準備・後始末」6.0分と専門的な看護を必要とするようなケアも長く提供されていたが、発生率は1.8%で低かった。

ケアが提供されていなかったケアとして、「家族との面談・連絡・インテーク面接・家族からの相談」があり、このほか、専門的な医療処置に係るケアもほとんど発生していなかった。

患者分類別に分析した結果、タイプ3では、「離乳食等摂取介助」が24.7分と最も長く、次いで「カーデクス、看護記録、ADL評価記録等」が24.0分であり、こういった記録が多かったのは、このタイプ3の乳幼児においては、呼吸に問題があり、「吸入療法・ネブライザーの準備・実施・後始末」に15.2分、「酸素吸入の準備・実施・後始末(テント法・経鼻カテーテル法・マスク法)」11.0分と、呼吸ケアの提供が長かったためであった。さらに、「抱きかかえての移動」も14.8分が提供され、移動においても介助が必要であることが示されていた。

タイプ4では、「離乳食等摂取介助」が16.8分と最も長く、次いで「抱きかかえての移動」が11.7分と10分以上の提供がなされたケアは、この2種類だけであった。5分以上のケアが提供された「車椅子による移動の介助、スロープ(外出のため)の用意、片付け」が9.5分、「ミルク摂取介助」9.1分、「歩行の介助、歩行器での移動の介助」8.0分、「おむつ除去、装着」7.3分、「職員間の連絡、打ち合わせ、伝達、他職員を捜す、連絡、職員の朝礼、他部署と電話で業務連絡、寮母が検温表を看護婦に渡す」が6.5分、「カーデクス、看護記録、ADL評価記録等」6.0分、「受動的遊び・運動遊び・視覚・聴覚・触覚・前庭覚・構成・描画・知的グループ遊びを指導・実施させる」が5.3分と示された。このようにタイプ4には、移動、食事、排泄、遊びのケアが長く提供されていた。

タイプ5では、「ミルク摂取介助」が28.3分と最も長く、次いで、「えんげ困難の援助、半側麻痺や水分誤飲に対する援助・指導」16.0分と10分以上のケアは、この2種類だけだった。

「おむつ除去、装着」7.8分、「カーデクス、看護記録、ADL評価記録等」7.4分、「職員間の連絡、打ち合わせ、伝達、他職員を捜す、連絡、職員の朝礼、他部署と電話で業務連絡、寮母が検温表を看護婦に渡す」7.3分と、排泄とケアシステムに係るケアも7分以上で長く提供されていた。

「脳・神経系(意識レベル)、呼吸(呼吸数、呼吸音の聴取)、経皮的動脈血酸素飽和度測定、循環(心拍、脈拍の測定、心音の聴取)、体温測定、消化管(排便を含む、腹部触



診・聴診)、皮膚・創、四肢、心理状態などの観察、「身長・体重の測定、血圧測定」6.1分、「経管栄養の実施」6.0分、「気管切開、気管切開口のケア、カニューレ交換・準備・後始末」6.0分、「吸引の実施・準備・後始末」5.5分と示され、これらの専門的な看護に係るケアは、単位となるケア時間が長いことが示唆された。また「ミルク準備」5.2分と示され、乳幼児にとっての食に係るケアは、提供時間が長いことが示された。

表 11-7 提供されたケア内容と平均時間\_全体 (平均値降順)

		平均値	標準偏差	最小値	最大値	N	発生率 (%)
tcc606	ミルク摂取介助	20.7	19.5	0.5	68.6	57	100
tcc84	えんげ困難の援助、半側麻痺や水分誤飲に対する援助・指導	11.9	33.5	0.9	132.7	25	43.9
tcc120	車椅子による移動の介助、スロープ(外出のため)の用意、片付け	9.5	10.6	2.0	17.0	2	3.5
tcc609	離乳食等摂取介助	9.4	13.6	0.3	62.3	47	82.5
tcc118	歩行の介助、歩行器での移動の介助	8.0	0.0	8.0	8.0	1	1.8
tcc76	おむつ除去、装着	7.7	3.7	2.2	19.4	57	100
tcc413	カーデクス、看護記録、ADL評価記録等	7.5	5.4	2.7	35.8	57	100
tcc603	抱きかかえての移動	7.4	9.5	0.1	64.8	57	100
tcc408	職員間の連絡、打ち合わせ、伝達、他職員を捜す、連絡、職員の朝礼、他部署と電話で業務連絡、寮母が検温表を看護婦に渡す	7.0	1.8	5.2	11.4	57	100
tcc98	経管栄養の実施	6.0	2.8	4.0	8.0	2	3.5
tcc222	気管切開、気管切開口のケア、カニューレ交換・準備・後始末、	6.0	0.0	6.0	6.0	1	1.8
tcc136	脳・神経系(意識レベル)、呼吸(呼吸数、呼吸音の聴取)、経皮的動脈血酸素飽和度測定、循環(心拍、脈拍の測定、心音の聴取)、体温測定、消化管(排便を含む、腹部触診・聴診)、皮膚・創、四肢、心理状態などの観察、身長・体重の測定、血圧測定	4.7	5.4	0.4	29.3	57	100
tcc605	ミルク準備	4.7	2.8	1.8	13.8	57	100
tcc410	申し送り	4.6	1.1	2.6	6.4	57	100
tcc52	更衣動作の全介助(靴下、靴含む)	4.5	4.4	0.0	20.8	57	100
tcc26	爪切り(準備・後始末含む)	4.5	0.7	4.0	5.0	2	3.5
tcc141	日常会話、声かけ	4.2	4.2	0.3	17.9	57	100
tcc217	酸素吸入の準備・実施・後始末(テント法・経鼻カテーテル法・マスク法)	4.0	6.1	0.5	11.0	3	5.3
tcc46	浴室内の監視	4.0	2.8	2.0	6.0	2	3.5
tcc215	吸引の実施・準備・後始末	3.8	11.2	0.6	71.1	39	68.4
tcc235	点眼液・眼用軟膏、点鼻薬、耳外用薬の準備・実施・後始末、鼻出血の手当など、目やにを拭き取る、疾病による鼻水拭き	3.8	3.4	1.0	8.5	4	7.0
tcc125	装具の装着を介助する(監視を含めて)	3.7	2.9	2.0	7.0	3	5.3
tcc363	受動的遊び・運動遊び・視覚・聴覚・触覚・前庭覚・構成・描画・知的グループ遊びを指導・実施させる	3.5	3.5	0.1	14.9	57	100
tcc602	抱きかかえる・おんぶ抱っこ	3.4	4.0	0.1	22.3	57	100
tcc424	職員自身の移動、ストレッチャーを他病棟へ借りに行く *職員の移動	3.1	1.9	2.4	15.6	57	100
tcc607	ミルクの後始末、片付け	3.0	3.0	1.4	20.2	57	100

tcc610	離乳食等の後始末、片付け	3.0	2.3	1.1	15.2	57	100
tcc15	手指浴・足浴	3.0	0.0	3.0	3.0	1	1.8
tcc100	体位変換一部介助	3.0	0.0	3.0	3.0	1	1.8
tcc102	枕・足底板・円座・離被架使用、仙骨部褥創防止具使用	3.0	0.0	3.0	3.0	1	1.8
tcc146	食事、服薬、尿路感染・褥創予防などに関する助言・指導、術後の指導、教育、手術前指導・オリエンテーション（栄養指導、調理指導を含む）	3.0	0.0	3.0	3.0	1	1.8
tcc88	食べ物を口にもって行って食べさせる（全面介助）	2.9	1.9	0.5	6.0	14	24.6
tcc145	励まし、慰め、カウンセリング、術後の心理的ケア	2.7	3.0	0.2	12.3	55	96.5
tcc183	身長・体重・皮脂厚・安静時基礎代謝量等の計測	2.6	1.5	1.0	5.0	5	8.8
tcc202	薬を患者に配布、経口与薬の実施・確認、服薬介助、注入食に薬を注入する	2.5	2.2	0.1	8.0	39	68.4
tcc108	ベッドから、車椅子へ	2.5	0.7	2.0	3.0	2	3.5
tcc114	車椅子の操作、車椅子の準備・片付け、病室内のベッドの位置（配置）を変える	2.5	2.1	1.0	4.0	2	3.5
tcc244	採取（便、尿、痰、胃液、血液等）の実施	2.5	0.7	2.0	3.0	2	3.5
tcc201	処方箋と処方薬の照合、薬の区分け、与薬の準備、食後服薬用薬（1回分）を、食事の準備以前に床頭台に置く、翌朝の服薬分を夕食後に床頭台に置く	2.4	2.5	0.7	12.2	57	100
tcc135	（夜間）巡視、容態観察	2.4	1.9	0.5	6.8	57	100
tcc28	耳掃除（準備・後始末含む）	2.4	3.4	1.0	10.0	7	12.3
tcc608	離乳食等準備	2.3	2.5	0.7	15.3	57	100
tcc45	洗身全介助	2.3	1.7	0.2	8.0	44	77.2
tcc13	部分清拭	2.3	1.9	0.3	8.8	32	56.1
tcc43	抱える、抱き上げる、背負っての移動	2.2	1.8	1.0	7.0	21	36.8
tcc234	褥創、外科創などの処置・包交、軟膏塗布、薬浴、皮膚のケアの準備・実施・後始末、軟膏を混ぜる、浸出量の測定、入浴後、皮膚ケアのクリームを塗る	2.2	1.6	1.0	6.0	16	28.1
tcc81	食事中的見守り	2.0	1.0	1.0	3.0	3	5.3
tcc143	ナースコールの受理応答	2.0	1.7	1.0	4.0	3	5.3
tcc148	看護計画に基づくケアに関する指導（食事・水分摂取、排泄、入浴、健康管理、環境等）、家族への教育・心理的支援	2.0	0.0	2.0	2.0	2	3.5
tcc69	排便の準備・実施・後始末	2.0	0.0	2.0	2.0	1	1.8
tcc95	経口栄養の実施	2.0	0.0	2.0	2.0	1	1.8
tcc134	その他の問題行動への対応	2.0	0.0	2.0	2.0	1	1.8
tcc320	座位訓練：部分介助	2.0	0.0	2.0	2.0	1	1.8
tcc267	手洗い、消毒液の交換	1.9	1.1	1.2	7.2	57	100
tcc163	病室内の掃除、病室の洗面台の消毒、病室のゴミ捨て、環境整備（病室内の掃除）の準備・片付け、掃除用具の準備、片づけ（デイルームのセッティングを含む）	1.8	1.1	0.7	4.6	57	100
tcc93	飲み物摂取介助	1.7	1.5	0.3	6.0	17	29.8
tcc12	使用物品の後始末	1.7	0.6	1.0	2.0	3	5.3
tcc142	ニード、訴えを知る、患者との相談、確認	1.6	2.0	0.1	8.7	57	100
tcc177	その他の見守り	1.6	1.8	0.5	10.1	57	100
tcc216	吸入療法・ネブライザーの準備・実施・後始末	1.6	5.4	0.2	30.2	33	57.9

tcc246	血液（交換輸血、骨髄移植）治療、アンギオ検査 介助、処置中の固定等	1.5	0.7	1.0	2.0	2	3.5
tcc49	衣服等の準備（靴下、靴含む）、入浴者にタオル を配る、入浴中の患者の衣類を洗濯物入れに運 ぶ、入浴の準備でタオルを病室に取りに行く	1.4	1.2	0.3	5.5	57	100
tcc420	処置室、器材室、汚物室、プレイルーム等の整理・ 整頓、共用部分・廊下・庭・窓ガラス・庭木等の 清掃、消毒、ゴミ捨て等、子供、夫の部屋の清掃	1.4	0.5	1.0	3.2	33	57.9
tcc53	衣服を整える	1.4	1.3	0.1	5.1	28	49.1
tcc425	職員の着替え	1.4	0.0	1.4	1.4	24	42.1
tcc265	診察の介助・準備・後始末	1.3	1.7	0.1	9.1	57	100
tcc77	おむつの点検	1.3	1.0	0.2	4.0	32	56.1
tcc5	必要物品準備	1.3	0.6	1.0	2.0	3	5.3
tcc42	浴槽内から浴槽外への移乗介助	1.3	0.6	1.0	2.0	3	5.3
tcc89	部分介助	1.3	0.6	1.0	2.0	3	5.3
tcc152	寝具を整える、ベッドメイキング、寝具をかける	1.2	1.1	0.1	4.5	57	100
tcc604	背中を軽くたたく、さする	1.2	2.6	0.0	11.5	35	61.4
tcc79	おむつの後始末	1.1	1.2	0.1	4.1	57	100
tcc415	勤務表・日課表等の作成、看護・介護職員日誌の 記入等（日報、月報、届出書類を含む）	1.1	1.0	0.6	4.7	33	57.9
tcc44	洗身一部介助、入浴後のタオルでの身体拭き	1.1	0.3	1.0	2.0	11	19.3
tcc101	体位変換全介助	1.0	1.9	0.0	9.0	46	80.7
tcc105	身体を起こす、ささえる、歩行の介助のあと車い すへ移乗、端座位から臥床させる、寝かせる	1.0	1.3	0.0	5.0	38	66.7
tcc80	食事の準備（エプロン、お茶、お湯用意、配膳）、 配膳後食札の数の確認	1.0	0.8	0.2	2.8	33	57.9
tcc4	洗面全介助	1.0	0.0	1.0	1.0	3	5.3
tcc113	床・マットから、車椅子へ	1.0	0.0	1.0	1.0	3	5.3
tcc107	ベッドからの昇降介助	1.0	0.0	1.0	1.0	2	3.5
tcc109	車椅子から、ベッドへ	1.0	0.0	1.0	1.0	2	3.5
tcc111	ストレッチャーから、ベッドへ	1.0	0.0	1.0	1.0	2	3.5
tcc190	特殊コールの設定・調整・確認	1.0	0.0	1.0	1.0	2	3.5
tcc321	座位訓練：かなり介助して	1.0	0.7	0.5	1.5	2	3.5
tcc1	洗面所までの誘導	1.0	0.0	1.0	1.0	1	1.8
tcc3	洗面一部介助	1.0	0.0	1.0	1.0	1	1.8
tcc8	うがい	1.0	0.0	1.0	1.0	1	1.8
tcc14	全身清拭	1.0	0.0	1.0	1.0	1	1.8
tcc17	乾布清拭	1.0	0.0	1.0	1.0	1	1.8
tcc21	洗髪全介助	1.0	0.0	1.0	1.0	1	1.8
tcc36	特殊浴槽からストレッチャーへ、特殊浴槽（用） ストレッチャーからストレッチャーへの移乗	1.0	0.0	1.0	1.0	1	1.8
tcc37	車椅子から浴槽内リフトへ、椅子から浴槽への移 乗介助 *シャワーキャリーは車椅子扱い	1.0	0.0	1.0	1.0	1	1.8
tcc51	更衣動作の一部介助（靴下、靴含む）、トイレ介 助中の衣服の着脱	1.0	0.0	1.0	1.0	1	1.8
tcc62	ポータブルトイレの準備・後始末	1.0	0.0	1.0	1.0	1	1.8
tcc110	ベッドから、ストレッチャーへ	1.0	0.0	1.0	1.0	1	1.8
tcc112	車椅子から、床・マットへ	1.0	0.0	1.0	1.0	1	1.8
tcc115	車椅子から椅子などへの移乗介助	1.0	0.0	1.0	1.0	1	1.8
tcc116	椅子などから車椅子への移乗介助	1.0	0.0	1.0	1.0	1	1.8

tcc126	作業療法的活動の補助	1.0	0.0	1.0	1.0	1	1.8
tcc149	入院時のオリエンテーション、病歴や生活に関する情報収集（入院時の合同評価、入院時の患者・家族への対応を含む）	1.0	0.0	1.0	1.0	1	1.8
tcc185	残尿測定	1.0	0.0	1.0	1.0	1	1.8
tcc203	坐薬（緩下剤、解熱剤など）の挿入	1.0	0.0	1.0	1.0	1	1.8
tcc236	耳鼻科処置介助の準備・処置介助・後始末	1.0	0.0	1.0	1.0	1	1.8
tcc243	放射線体外照射の前準備の介助	1.0	0.0	1.0	1.0	1	1.8
tcc314	寝返り訓練：部分介助	1.0	0.0	1.0	1.0	1	1.8
tcc330	バランス訓練：かなり介助して	1.0	0.0	1.0	1.0	1	1.8
tcc87	おやつ準備（エプロン、お茶、お湯用意）、配茶前に患者全員の冷茶を捨てる	0.9	0.8	0.6	4.8	57	100
tcc97	経管栄養（経鼻、胃瘻）の準備	0.9	3.3	0.1	18.1	33	57.9
tcc153	寝具、リネン交換	0.8	1.4	0.3	8.3	34	59.6
tcc412	ケース会議、ケアに関する打ち合わせ、ケア計画、個別ケア方針等、カードックスの確認、伝票確認（定期カンファレンス・ミニカンファレンス等を含む）	0.8	1.1	0.3	5.3	33	57.9
tcc423	夜勤者の仮眠	0.8	0.0	0.8	0.8	24	42.1
tcc218	タッピング、体位排痰法、喀痰用バイブレーターの準備・実施・後始末	0.8	1.1	0.1	4.0	12	21.1
tcc407	家族への連絡・対応・調整等の話し合い、病歴・生活全般・家族についての情報収集	0.7	1.1	0.1	6.7	57	100
tcc127	マッサージ、さする	0.7	1.5	0.1	8.2	57	100
tcc154	必要物品準備	0.7	0.2	0.6	1.6	34	59.6
tcc99	経管栄養の後始末	0.7	2.4	0.0	11.0	33	57.9
tcc182	経管栄養（経鼻、胃瘻）時の見守り	0.7	1.1	0.1	3.6	12	21.1
tcc175	洗濯物をたたむ、洗濯物の整理	0.6	0.6	0.3	3.9	57	100
tcc86	食事摂取量・水分量測定、水分出納管理やカロリー計算	0.6	0.7	0.1	2.4	57	100
tcc31	浴室準備、シャワー椅子の準備	0.6	0.6	0.2	3.2	57	100
tcc418	注射伝票、消毒薬、治療器具・器材の管理・購入、日用品、衣類等の補充、購入、リネン・おむつ数量チェック・注文など	0.6	0.2	0.6	1.1	33	57.9
tcc429	記録物（紙カルテ・電子カルテ・カードックスなど）からの情報収集	0.5	0.9	0.2	6.4	57	100
tcc171	洗濯物を集める、洗濯室に持って行く	0.5	0.5	0.1	1.0	57	100
tcc414	入院カルテ・レントゲンフィルム・伝票類・ファイルの整理、書類のコピー、カルテ記入の準備・片付け	0.5	0.8	0.1	4.3	57	100
tcc10	口唇の乾燥を防ぐ、痰や唾をティッシュでとる	0.5	0.8	0.0	3.0	35	61.4
tcc411	医療、行政担当者、義肢装具士、ボランティア等との連絡・情報収集、夜勤での外線の対応、医療、行政担当者との連絡（外部との電話による対応を含む）	0.5	1.9	0.2	11.2	33	57.9
tcc7	口腔清潔（歯みがきなど）	0.5	1.6	0.1	7.1	33	57.9
tcc66	排尿頻度、量、間隔のチェック	0.5	1.3	0.0	5.0	24	42.1
tcc91	後始末、下膳、患者私物のやかん・楽のみを集め洗浄	0.4	0.7	0.1	4.1	57	100
tcc48	入浴作業終了後の浴室・浴槽の清掃、洗浄	0.4	0.5	0.0	2.5	57	100
tcc41	浴槽外から浴槽内への移乗介助	0.4	0.7	0.0	3.0	33	57.9
tcc162	採光・防音調整、ブラインド、カーテンの開閉、	0.3	0.2	0.3	1.3	57	100